

二年	国語	Gアップシート	書く4
----	----	---------	-----

組 番・氏名

★中学生の携帯電話所持について、意見文を書こう

◇学校内で携帯電話の所持が話題になっていきます。そこで荒木さんの学級では意見文の学習の一つとして『中学生は携帯電話を持ってよいか、持たないべきか』というテーマを取りあげ、この問題について考えることにしました。荒木さんは『持つべきではない』という立場で意見文を書くことにしました。



問一 荒木さんは意見文を書くために、全国の中学生の携帯電話所持の状況や、使用の様子についてのデータを集めたいと考えました。どんな方法で調べるのが最も効率的か、ア～エの中から一つ選びなさい。

- ア インターネット イ 図書館
- ウ アンケート エ インタビュー

【様々な方法を活用して材料を集める】

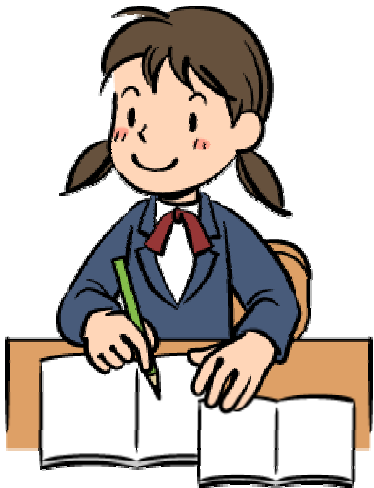
問二 調査や考えたことをもとに、意見を支える根拠をいくつか書き出していきました。次のア～エの中で、荒木さんの意見の根拠として適切でないものをつ選びなさい。

【集めた材料をもとにして、自分の意見をまとめる】

- ア 中学生が持つには価格や使用料が高額である。
- イ 使い方によっては犯罪に巻き込まれることもある。
- ウ 使いすぎによって、生活のリズムを崩す例も多い。
- エ 使うことによって電子機器の扱いが上手になる。

◇荒木さんは次のように意見文を書きました。

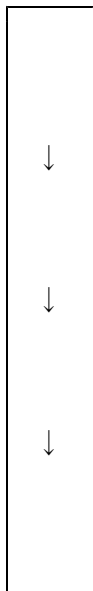
- ① 私は中学生は携帯電話を持つべきではないと考える。
- ② 第一に、携帯電話は中学生が持つには価格や使用料が高額であるからだ。中学生がお小遣いで払える金額ではないようである。
- ③ 第二に、使いすぎによって生活のリズムを崩す例があることである。はじめを付けて使えばよいが、ついつい使いすぎて寝不足になっているケースが多いようだ。
- ④ 以上の理由により、私は中学生は携帯電話を持つべきではないと考える。



問三 荒木さんほどのような構成で意見文を書いたのでしょうか。文章の構成に合うように、次のア～エを並べかえなさい。

【意見を明らかにし、文章の構成を考える】

- ア 自分の意見の主となる根拠
- イ テーマに対する自分の立場
- ウ 自分の意見のまとめ
- エ 自分の意見の副となる根拠



問四 荒木さんはこの文章をより説得力のあるものにするために、文章の内容を生かした具体例を入れたと考えました。どのような例を加えれば効果的か、ア～エの中から一つ選びなさい。

【具体例を用いて文章を書く】

- ア 携帯電話を使いながら歩いて交通事故にあつた事例を加え、危険さをアピールする。
- イ 携帯電話を使いすぎて壊した事例を加え、壊れやすさをアピールする。
- ウ 携帯電話の価格や使用料を加え、高価であることをアピールする。
- エ バス内での使用の実態を加え、マナーの悪さをアピールする。



問五 荒木さんは反論を予想して次の文を追加した方がより説得力を増すと考えました。文章中のどの段落の後に入れるのが最も適切でしょうか。文章中の①～④から選んで答えなさい。

【推敲し、相手に伝わりやすい文章にする】

この意見に対して、「携帯電話は緊急の際の連絡に使えるから防犯に役立つ」と言う人がいるかもしれない。しかし、世の中では携帯電話を使った犯罪が増しており、逆に犯罪に巻き込まれる危険性が高い。防犯のメリットよりも、携帯電話を持つことによって犯罪に巻き込まれるデメリットの方が今は大きいと考えられる。



第



段落の後

◇完成した意見文をお互いに読み合う前に、先生から次の三つの観点が示されました。岩田、杉本、山崎、大野の四人はそれを意識しながら意見文を読み、次のような話し合いをしました。

『話し合いの観点』

- ①自分の立場を明確にしているか
- ②意見の根拠が書かれているか
- ③効果的な段落のつながりになっているか

岩田 観点①についてはどう？

杉本 その点には問題ないね。最初と最後に明確に述べられているよ。

大野 僕も同じ意見だな。観点②の中身にも入っちゃうけど、自分の考えを支える根拠もしっかり書いてあり、全体として自分の立場の筋が通っているよ。

山崎 そうだね。おかげで携帯電話を持つことのメリット、デメリットがよくわかったから、僕も携帯を買うときには参考にしたよ。高校生になったら買いたいな。

大野 確かに意見文には荒木くんの考えがしっかりと書かれているし、根拠の筋も通っていて納得できるね。そういう意味では③の観点もしっかりできているね。

山崎 しっかりした内容をしつかりした構成でまとめると、とても論の説得力を増すことがよくわかるよ。

岩田 最初と最後に自分の立場を、中間に根拠という構成はもちろん、根拠の中も二つの具体的な根拠と一つの反論に対する意見という形で、とても素晴らしいね。



問六 話し合いの中で、先生から出された観点から離れた発言をしている人がいました。その人の名前を書きなさい。

【観点に従って意見を述べる】

【書く4 中学生の携帯電話所持について、意見文を書こう】

問一 ア 問二 エ 問三 イ↓ア↓エ↓ウ 問四 ウ 問五 ③ 問六 山崎

解説

問一

調べる対象が同じでも、調べたい内容によって方法が変わってきます。どのようなことが知りたいのかを前もって明らかにし、それにあつた方法で調査を行いましょう。

問二

集めた材料をもとに意見を支える根拠を考えるとときには、意見と根拠のつながりの強さに注意しましょう。誰にでも当てはまる、より一般化しやすい根拠を優先して取りあげ、どちらとも言えないもの、自分の意見とは反対になるものは取りあげません。ただ、自分の意見を強めるために反対意見をあえて取りあげ、その反論を示すのも説得力を強める方法の一つです。

問五

反論を予想しての意見は、根拠の一番最後に書くようにすると効果的です。

問六

事前に読む視点が示されているときには、読んでから考えるのではなく、視点にそつて読み進められるようにしましょう。その上で視点に沿つた意見が言えるように気をつけましょう。